

千年の森便り No.138

2015.1.22

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.digi2.jp/>

事務局長 伊藤道男

sennennomori@hotmail.co.jp

活動の記録

1月18日(日) 快晴

参加は新井夫妻、新井通子、伊藤、鶴沢、大原、苅米、久我夫妻、栗山、坂本、根本、真鍋、村野、山口、吉澤の16名。朝一番、祠山にお神酒を捧げ一年の安全を祈願し、青空の澄んだ森で、ホテイチク林整備や竹テーブルづくり、ホダ場の保護柵補修など分担して働き、身も心もスッカリ暖まりました。昼には根本さん畑の野菜たっぷり熱々スープをご馳走になりいっそう暖まりました。参加の皆さんお疲れ様でした。(真鍋)



年初恒例の安全祈願



森の空は青く澄み



昼は熱々スープのご馳走

○ホテイチク林整備

先月に続き、ホテイチク保護柵内に残ったマダケを除伐して柵外に搬出しました。倒れた小灌木等も除伐し、倒れていた保護柵を補修し閉鎖しました。利用可能なマダケ数十本は千年広場に運びました。(真鍋)



○竹テーブルの作成

先月に引き続き、ホテイ竹保護柵内で除伐したマダケを有効利用するため、二台目の竹テーブルを作成しました。割り竹を載せる補強パイプの穴あけ作業や水平出し、割り竹の固定など、二台目となると作業は1時間程度で行うことができました。お疲れ様でした。残材があるので次回は荷物置棚を作成予定です。(根本)



○ホダ場保護柵補修

椎茸のホダ木を獣害から保護するために、ネットが掛けられています。が、長期間放置された状態になっていたため、椎茸の収穫期を迎えるに当たって保護ネットを手直しました。

作業は、保護ネットを一旦取り外し、既に腐ってしまったホダ木を取り除き、倒れたホダ木があるので天地返しで新たにムカデ伏せに組み立てました。その上からネットで覆って鹿や猿などの獣害から護ります。7~8年経過したホダ木は、殆ど腐敗しているため廃棄処分しました。ネットを手直した所は3ヶ所、新たにネットを設置した所は2ヶ所。



多くの方々のご協力を頂きながら、楽しく手際よく作業ができました。(久我哲也)

○伐採区落葉掻き

コナラ伐採区の落葉掻きの提案がありました。木々が育つまでの当分の間は、区域外から吹き込んで来るのが溜まるのみとなるでしょう。落葉は日除けにも栄養にも必要と思われましたので軽めな回収としました。専門家の方も大勢おられるので皆様の経験とお知恵をお借りして試行錯誤しながら見守っていかねばと考えています。

早い時期に、ある区画は少なめの落葉、ある区画は多め、またある区画は乾燥気味になどと変化も持たせたらどう変わっていくかなど、夢が膨らみますね。

区域の中は常緑のアセビが光沢を放ちわが世の春を謳歌していますが調整も必要でしょう。（新井通子）



○野鳥記録

カルガモ6 ホシハジロ48 キジバト1 カワウ2 トビ3+声
コゲラ2+声 カケス2 ハシボソガラス声 ハシブトガラス1+声
ヤマガラ2+声 シジュウカラ2+声 ヒヨドリ声 ウグイス声
エナガ声 メジロ4+声 以上 15種

落葉期なので林内の見通しが良く、声だけでなく姿も確認しやすくなっています。

ホテイ岬の対岸では今月もホシハジロ 48羽が見られました。オシドリと違って開けた水面に出て来るので目立ちます。（坂本）



ホシハジロ 1/18（真鍋）

お知らせ

○2・3月の定例活動日

2月15日(日) 光環境調査、ホテイ岬森林整備、造材・皮剥き、植物調査、野鳥調査

3月15日(日) シカ個体数調査、ヒメコマツ成長調査 仮設物置更新、植物調査、野鳥調査

など計画しています。積極的な参加・協力が期待されます。いずれも9時30分、県民の森駐車場集合。

○森林研究センター成果発表会のご案内

毎年恒例の森林研究所の成果発表会が下記のように計画されています。発表者はいずれも千年の森に縁の深い方々です。多くの会員が参加されるようお勧めします。入場は無料、事前申し込みは必要ありません。

記

日 時：2月18日(水) 13:30~16:00

場 所：さんぶの森文化ホール（山武市埴谷 1904-5）

発表1 森林に残された資源「木質バイオマス」の搬出方法 森林研究所 廣瀬 可恵
-小規模森林で利用可能な簡易な搬出方法の紹介-

発表2 ヒノキの花粉飛散量を雄花の観察から予測する 森林研究所 福島 成樹

発表3 房総丘陵のヒメコマツの保全・回復に向けたつぎ木・さし木による増殖と種子生産の方法
森林研究所 小森谷あかね

発表4 少花粉ヒノキの種子生産技術の向上を目指して 森林研究所 小林 沙希